

まちの話題

町的话题を紹介しています。
皆さんの身近な情報をご連絡
ください。

連絡先

企画財政課広報広聴係

電話 25 - 2136

二十歳を祝う成人式に51人が参加

1月5日、プラネット97で新成人となった男性24人、女性27人、計51人が、華やかな振り袖やスーツに身を包み、平成18年清里町成人式に出席しました。

式では、二俣教育委員長より、「厳しい時代であるが、若さと逞しい力を発揮され、様々な困難を乗り越えていって欲しい。」と式辞が述べられたあと、新成人を代表して石井靖洋さん(向陽西)が「私

たちは、それぞれ環境の異なる暮らしをしています。生まれて育った環境を大切にして地域社会に貢献できるよう努めます。」と謝辞を述べました。式に参加した皆さんは成人としての権利と責任をあらためて真剣に考えるとともに、成人になった実感をかみしめている様子でした。

式後には、実行委員による祝賀会が行われ、中学校時代の担任からのビデオレターを上映するなど、久しぶりに集まった友人たちとのひとときを楽しんでいます。



清里小児童が衝立(ついたて)を寄贈

12月21日、清里小学校の児童から介護老人保健施設きよさとに間仕切り用の衝立が寄贈されました。

これは、9月に清里小がJRC活動の一環として行った、古新聞・古雑誌・空き瓶・空き缶・などを回収するリサイクル活動の収益金(約8万円)により購入されたものです。寄贈にあたっては、施設のなかで利用者が休まる空間をつくったり、着替えなどプライベートな空間をつくるなど、使いたいときにその場で活用できるものとして衝立が選ばれました。

活動にあたった清里小JRC委員会の児童たちからは、「大切に使用してもらえれば嬉しい。また、この活動に協力してくれた方々のおかげです。ありがとうございました。」と話してくれました。



中体連スケートで、清中1年の松井宏佑くんが全国大会に出場決定

清里中学校1年生の松井宏佑くん(水元町第2)が、札幌市真駒内屋内競技場で行われた中体連スケート全道大会で、男子1500メートルの種目で決勝に進み、全国大会への出場権を手に入れました。

全国大会の出場にあたって橋場町長を訪れ、大会への抱負を話してくれましたが、松井くんはまだ1年生とあってこれからの活躍が大きい期待されます。

全国大会は、2月4日から7日まで釧路市の柳町スケート場で行われます。



今年一年の安全を願って出初式が行われました



1月6日、厳しい寒さのなか、約100名の消防団員が防火の誓いも新たに、市街地を分列行進するなど、清里消防団出初式が行われました。

この後、プラネット97で勤続表彰等の各表彰が行われました。各表彰者は次のとおりです。

敬省略

- 平成17年中無火災表彰分団 第三分団（一六八七日）
- 北海道知事表彰（三十年勤続章）高橋君夫、上本芳博、塚田忠男（二十年勤続章記）太田良孝、漆原 淳、鈴木文雄、西尾

昭、櫻村 裕、鍋山光夫（十年勤続表彰）石井勝之

●北海道消防協会表彰（三十年勤続章）上本芳博（二十年勤続章）櫻村 裕、鍋山光夫（十年勤続章）石井勝之

●北海道消防協会網走地方支部表彰（功労章）岩佐雅宜、高橋君夫、上本芳博

●斜里地区消防組合表彰（功績一号）井田直孝（優良四号）藤野貴大、岩井真一、長谷健一（優良三号）小木曾勇治、山口剛、山川圭一

パソコン教室で基本操作を習得



1月17日から全5回の日程で、図書館を会場に初心者を対象にしたパソコン教室が行われています。参加されている皆さんは、電源管理やマウスの操作方法などの基本操作を習得しようと、用意された資料とパソコンの画面を見比べながら講師の話を見聞していました。

書初席書大会が行われました



1月7日、プラネット97で清里町書道協会主催による第27回書初席書大会が行われました。

幼稚園児から中学生までの57人の参加者は、今年の干支「いぬ」や「正月」、「新年の空」などの課題文字を一字一字ゆっくりと丁寧に、大人顔負けの筆さばきで軽快に書きあげていました。



冬を満喫した歩くスキーツアー



1月22日、江南の登山口から美里までのコースを、雪景色のなかで秀峰斜里岳やオホーツク海を眺めながら10キロ以上を巡るツアーに35人が参加し、冬の一日を大いに満喫しました。

毎年参加している方も多く、このイベントを心待ちにしていた方の願いも通じ、好天のなかで一面に広がる雪景色を眺めながら心地よい汗を流していました。また、昼食にはジנגリスカンを囲みながら参加者同士の交流を深めていました。